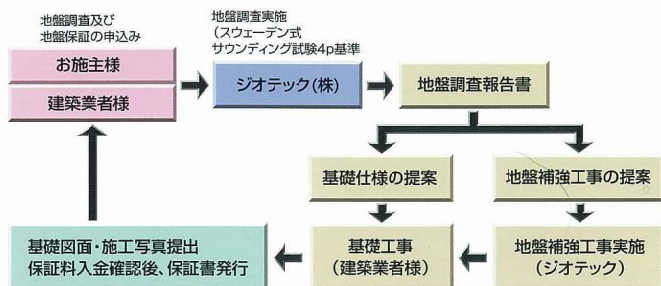


住宅地盤保証制度

●住宅の不同沈下事故ゼロを目指して●



●保証内容

弊社の地盤調査ならびに地盤補強工事の瑕疵により当該建築物に不同沈下が生じた場合、当該建築物を元の状態へ修補する工事およびその事実から生じる損害を法的損害賠償責任の範囲内で負担する。

保証限度額は一物件一事故5000万円とする。

●保証期間

建物基礎着工日より10年間

●保証対象建物

木造および鉄骨3階建てまでの専用住宅・共同住宅・店舗併用住宅

※詳細はお問い合わせください。

ジオテック住宅地盤保証制度 保証書

下記記載建築物について、ジオテック(株)の地盤調査ならびに地盤補強工事の結果に起因して地盤損壊による不同沈下が発生した場合、建築物および地盤損壊の修復費用を下記内容により負担する事を保証します。

保証書番号	
物件名	
物件住所	
建築業者	
保証期間	年月日 ~ 年月日
特記事項	

※個々の物件に対し、地盤の「保証書」が発行されます。

<http://www.jiban.co.jp/>

ジオテック株式会社

〒161-0033 東京都新宿区下落合2-3-18 SKビル
TEL. 03-5988-0711 FAX. 03-5988-0721

設立 平成元年9月7日

資本金 5,000万円

代表者 代表取締役社長 中村義勝

従業員数 70名

業者登録 建築、とび・土工事業 東京都知事(般14)第82824号

地質調査業者 国土交通大臣(質13)第1621号

取引銀行 リそな銀行渋谷支店



住宅地盤に安全と安心を



ジオテック株式会社

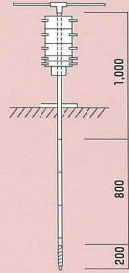
地盤調査

●現地地盤調査

(スウェーデン式サウンディング試験)

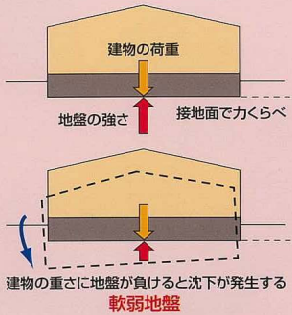
住宅建築前の地盤調査は今や当たり前。わずかな費用で一生涯の安心が買えます。

スウェーデン式サウンディング試験は戸建住宅では最も広く採用されている調査方法。100kgのおもりの力でねじ状になった先端部を回転させながら押し込んで、そのときの半回転数(Nsw)を測定して地盤の硬さを調べます。報告書では調査データだけでなく、そのデータから調査地盤の基礎仕様の選定及び軟弱地盤対策を提案します。



●建物と地盤の関係

計画建物の重さに地盤が耐えられるかどうか、見ただけでは分からない地盤の強さが、地盤調査を実施することによって数値として把握できます。すなわち、地盤調査の結果を参照することで、地盤の強さに見合った基礎の仕様を決定できるのです。



スウェーデン式サウンディング試験
・一宅地当り数箇所調査します
・作業時間は2人で2~3時間



不同沈下事例

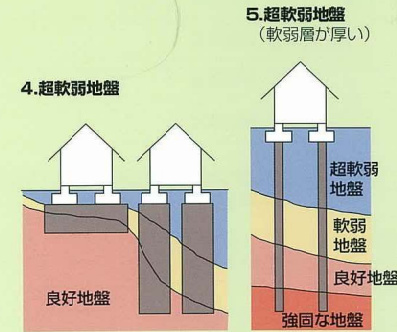
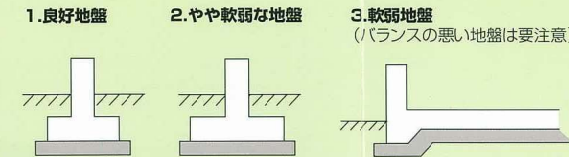
住宅地盤の品質確保 = ジオテックなら安心です



基礎仕様または地盤補強のご提案

地盤調査報告書で基礎仕様または地盤補強のご提案をします。最終的には建築業者の設計担当者が施工条件等も考慮して詳細仕様を決定します。選択肢は一般的に次の5パターンです。

1. 標準の布基礎 (逆T字型)
2. 底板を広げた布基礎
3. ベタ基礎仕様 (全面に鉄筋コンクリートを打設した基礎)
4. 特殊セメントを用いた地盤改良+標準の布基礎
5. 硬い層まで鋼管杭打設+標準の布基礎

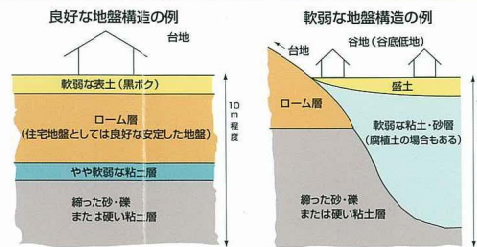


軟弱地盤は悪い土地ではありません

軟弱というと良くないイメージを持たれるかもしれませんが、「悪い土地」とは思わないでください。重要なのは軟弱地盤に対してきちんとした対策が採られているかどうかです。ほとんどの場合は基礎仕様の変更や地盤補強で問題なく家を建てる事が出来ます。

地盤を知る

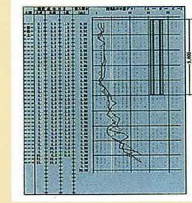
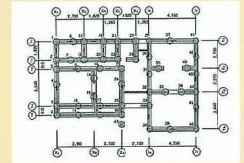
同じように平坦に見える宅地でも場所によってその地盤構造が大きく違います。軟弱地盤なのに対策の無いまま家を建てる、不ぞろいに沈下するいわゆる不同沈下が起こることがあります。夢にまで見た新居が傾いてしまわないために、地盤を知り対策を立てることは非常に大切なことです。



地盤補強工事

不同沈下を防止する地盤補強の設計

- 常にレベルアップを目指す設計・施工基準
- 経験豊富な技術スタッフ陣



地盤調査(スウェーデン式サウンディング試験)から得たデータを基に地盤補強の設計をします。土質・N値・水位などから改良長・配置・本数・セメント添加量・設計改良強度などを決定します。



ジオグラム工法施工状況

ジオグラム工法

- 特殊セメントを水と混ぜ注入攪拌して地中に柱状の改良体を作る工法(径600mm)
- 軟弱層が2~8mまでに適用
- 標準工期は1~2日



小口径鋼管杭工法

- 鋼管を回転圧入して支持層まで打設する工法
- 軟弱層が8m以深またはセメントでは固まりにくい場合に適用



表層改良工法

- 特殊セメントを散布攪拌転圧して地中に版状の改良体を作る工法
- 軟弱層が2m以浅に適用
- 標準工期は1~2日



表層改良工法施工状況

